

特記仕様書の記載内容

【簡易型内部圧入工(カプセル式)】

リハビリカプセル工法(NETIS:CG-120005-VR)

(1)既設コンクリートの塩化物イオン量は、 $\bigcirc\bigcirc\text{kg/m}^3$ を見込んでいる。亜硝酸リチウム設計注入量は塩化物イオン量によって変わるため、事前調査にて構造毎に塩化物イオン量試験を実施すること。

(2)主な使用材料は以下を想定している。

ASR 抑制剤：浸透拡散型亜硝酸リチウム プロコン 40

ひび割れ注入材：アーマ #600

表面シール材：アロンカチオクリート

表面仕上げ材：アイゾール EX

(3) リハビリカプセル工法 (NETIS : CG-120005-VR) の施工要領

① 事前調査工

- ・ひび割れ延長、圧縮強度、塩化物イオン量を実測する。
- ・塩化物イオン量より、亜硝酸リチウム設計注入量を最終決定する。
- ・設計注入量の最終決定は監督職員の承認を得ること。

② 表面漏出防止工

- ・ひび割れ注入、表面シールを行い、亜硝酸リチウム圧入時の漏出を防ぐ。

③ 鉄筋探査

- ・圧入孔が既設鉄筋位置と干渉しないよう鉄筋探査を行う。干渉する場合には圧入孔の位置を調整する。

④ 圧入孔の削孔

- ・圧入孔の径は $\phi 10\text{mm}$ を標準とする。
- ・圧入孔の間隔は 500mm を標準とし、千鳥配置で削孔位置の決定を行う。
- ・浸透性能をよくするためダイヤモンドドリルを用いて削孔を行う。

⑤ 本加圧注入工

- ・注入圧力は 0.5MPa を標準とする。ただし、圧入状況によっては上限注入圧力まで圧力を上げることができる。
- ・亜硝酸リチウムの注入量の管理は、カプセル式圧入装置内の亜硝酸リチウム残量の目視確認とし、最終的な出来形は空缶により確認すること。
- ・圧入時の外気温が 0°C を下回る場合には、圧入装置、配管等に対して適切な保温養生を行うこと。

⑥ 圧入孔の復旧

圧入完了後、圧入孔に無収縮グラウトもしくはエポキシ樹脂を充填し、入念に復旧する。

(4)施工管理基準

リハビリカプセル工法の施工においては、以下の項目について管理を行うこととする。

工程	管理時期	管理項目	管理方法	管理基準	頻度
材料検収	材料受入時	材料品質	品質検査証明書	—	ロット毎
		材料数量	目視	設計数量	全数
本加圧注入工	圧入中	注入圧力	コンプレッサの圧力ゲージ目視	設定圧力	全圧入孔毎 ／毎日
		圧入量	カプセル内の抑制剤減量	設計数量	
		圧入時間	累積圧入時間	設計圧入日数	
		躯体表面からの漏出の有無	目視	—	

(5)使用材料の品質管理

・使用材料の品質管理として、下記の品質を確認できる資料を監督員に提出すること。

表-1 浸透拡散型亜硝酸リチウム

成分	亜硝酸リチウム水溶液
外観	透明黄色
粘度	20mPa・s 以下
比重	1.25±0.05
pH	9.0±1.0
有効分	40.0±1.0%

表-2 ひび割れ注入材(超微粒子セメント系注入材)

試験項目	単位	測定値		備考
硬化体密度	g/cm ³	1.64		JIS A 1110
コンシステンシー	秒	13.7		JSCE-F531 (JA ロート)
ブリーディング率	%	3時間	0.9	JSCE-F532
圧縮強度	N/mm ²	材齢 28 日	36.7	JIS A 1108 (φ5×10cm)
曲げ強度	N/mm ²	材齢 28 日	4.2	JIS R 5201
接着強度	N/mm ²	材齢 28 日	3.5	JIS A 6024